

御忌

◆平成29年度



大本山増上寺

〒105-0011 東京都港区芝公園4丁目7-35

電話 03-3432-1431 (代表) <http://www.zoji.or.jp>

●御忌大会日程表

(平成 29年 4月)

日(曜日)	晨朝法要	日中法要	日没法要
2日 (日)	10:00 開白 御親修	10:00 献茶式 表千家 堀内宗完宗匠	
3日 (月)	10:00 第36回御忌詠唱奉納大会 (大本山増上寺吉水講)		
4日 (火)			
5日 (水)	10:00 晨朝法要 [御導師] 大本山増上寺執事長 友田達祐上人	14:00 日中法要 (行列開始 13:30) [唱導師] 茨城教区西福寺 中寫正史上人 [説教師] 圓福寺 池田常臣上人	15:30 御歴代大僧正御年忌 尊宿先亡追悼会 式楽師先亡追悼会 御親修
6日 (木)	10:00 一宗法要 [御導師] 浄土宗宗務総長 豊岡鐸尔上人 [説教師] 浄蓮寺 郡嶋泰威上人 11:00 叙任式	14:00 日中法要 (行列開始 13:30) [唱導師] 東京教区正覺院 安孫子虔悦上人 [説教師] 圓通寺 後藤真法上人	15:30 御忌施餓鬼会 百萬霊回向 霊廟・墓地先亡追悼会 諸講中先亡追悼会 御親修
7日 (金)	10:20 元祖降誕会 (行列開始 10:00) [御代理導師] 協議員 川村一紀上人 [説教師] 養命寺 安井隆秀上人	14:00 日中法要 (行列開始 13:30) [唱導師] 青森教区正覺寺 楠美知剛上人 [説教師] 遍照寺 花田俊岳上人	15:30 結願 御親修

※日中法要是、法要開始時刻より約30分前に大門から練行列が行われます。

【御忌】

浄土宗の元祖法然上人の忌日法要を「御忌」といいます。

法然上人は長承2年、西暦1133年、美作国（現在の岡山県）にお誕生になりました。幼少にして父を失い、それを機に出家の道を求め京都の比叡山にのぼって勉強し、当時の仏教・学問の全てを修した後、ただひたすらに仏に帰依すれば必ず救われる、すなわち南無阿弥陀仏を口に出して称えれば必ず仏の救済を受けて、浄土に生まれることができる、という称名念仏の教えを開かれました。そして、さまざまな受難と闘いながら、ひたすら私たちのために念仏をひろめるご聖業を続けられました。浄土宗のみ教えは日本の隅々にまで広がり、上人を讃える声は、念仏の声と共に高まりました。

法然上人の時代は、長い戦乱の時、治安の乱れも激しく、民衆の社会不安や困苦が深刻化していました。上人は、こうした世相をじっと見つめられて、それまでの難しい仏教の殻から抜け出して、庶民の中に飛び込み、他力念仏の浄土宗の教えを打ち立てられたのであります。上人は「我れ浄土宗を立つる心は、凡夫の報土往生を示さん（ぼんぐおんじやう）がためなり」と宣言されました。誰でも皆、南無阿弥陀仏と称えれば必ず救われる。それは私たちの力ではなく、阿弥陀仏の大きな慈悲の御力（みまゐり）によって救われるのであります。「我れ汝を救う」と誓われた阿弥陀仏の大悲願が、他力本願の念仏であります。命終の時のみでなく、念仏の中に毎日毎日を送り、仏に見守られて、今を生きすることに喜びを感じ、精進していくことが極楽往生の姿でありましょう。

法然上人には、元禄10年、西暦1697年、東山天皇から圓光大師の号が贈られ、その後約50年ごとに、代々の天皇から東漸・慧成・弘覚・慈教という大師号が贈られ、明治天皇から明照大師、昭和天皇から和順大師、今上天皇から法爾大師の号がそれぞれ加諡（かお）されました。このようなことは、全く他に比類ないことで、法然上人がいかにご立派であられたかを拝察してなお余りあるものであります。

法然上人は、建暦2年、西暦1212年、正月25日、80歳で亡くなりましたが、上人のみ教えは今も、私たちの中に光り輝いています。

御忌を迎えて、法然上人のご恩徳を讃えましょう。



法然上人像



江戸時代の御忌行列図

5日

日中法要 唱導師

茨城教区西福寺 中寫正史上人

なか じま しょうし

〔略歴〕

昭和32年3月15日生

昭和60年10月 西福寺 第26世拜命



- 浄土宗 宗議會議員
- 学校法人 寿広学園 理事長
- 前 浄土宗関東ブロック児童教化連盟 理事長
- 元 全国浄土宗青年会 副理事長

● 声明法要

縁山声明は関東風の力強い独自のものです。
四智讃、伽陀、笏念仏、唱礼等をお唱えします。

6日

日中法要 唱導師

東京教区正覺院 安孫子虔悦上人

あ び こ けん えつ

〔略歴〕

昭和19年10月20日生

平成3年3月 正覺院 第19世拜命

- 東京都仏教連合会 監事
- 大正大学 監事
- 前 大本山増上寺布教師会 副会長
- 元 般社団法人 仏教情報センター 理事長



● 引声阿弥陀経法要

阿弥陀経に節をつけ、笏で拍子をとってつ唱え、
極楽の八功德池の波の音のごとしと形容されます。

【練行列】

ねりぎょうれつ

大法要の始まる30分前、江戸三大名鐘の一つに数えられる大梵鐘が鳴り響き、これを台図に大門からスタートします。行列は、先進 山旗 唱導師旗 木遣 寺侍 巡検 随喜寺院 吉水講 百味講 稚児 会行事 式衆 会奉行 侍者 唱導師 大傘 伴僧 法類随喜寺院 巡検 稚児 総代 寺族 後詰と続きます。



【庭儀式】

ていぎしき

唱導師が三門をくぐり境内に足を踏み入れる瞬間、二番鐘の音と共に三門楼上から無数の散華が舞い降り、参集の人々は、まさに極楽浄土と考える光景を目の当たりにします。行列が本堂に入堂する直前に、庭前の舞台上で庭儀式が行われます。



【お稚児】

お ち ょ

大門からのお練行列には可愛いお稚児さんが参列します。お稚児は、諸天善神が姿を変えてお導師をお護りするさまを現しています。天の童ということで天童といい、このお役を勤めたお子さんは丈夫に育つとされています。



7日

日中法要 唱導師

青森教区正覺寺 楠美知剛上人

〔略歴〕

昭和47年6月7日生

平成22年12月正覺寺第34世拜命

- 大本山増上寺 布教師
- 総本山知恩院 布教師
- 学校法人 青森山田学園 理事
- 元 浄土宗青森教区青年会会長



● 浄土法事讃法要

浄土往生を願うために、阿弥陀經に基づいて
阿弥陀仏とその極楽浄土の功德が讃えられます。

7日

晨朝法要 御代理導師(元祖降誕会)

協議員(静岡教区松平西福寺) 川村一紀上人

〔略歴〕

昭和23年11月25日生

平成2年8月松平西福寺第32世拜命

- 静岡教区教区長
- 東海地区教化センター委員長
- 浄土宗教導師会 理事
- 浄土宗開教振興協会 理事



● 音楽法要

淑徳高等学校聖歌隊、増上寺合唱団が出だし、
仏讃歌を斉唱します。

【経蔵】

經典を収め置く堂宇で、内部には八角形の大輪蔵が安置されています。徳川家康公から寄進された国の重要文化財である宋版、元版、高麗版の三大蔵經を収蔵していました(現在は収蔵庫に移管)。4月2日から7日に公開、雨天中止。



【舞楽】

期間中毎日正午過ぎ、大殿前舞台において、80年の歴史と伝統を誇る大本山増上寺雅楽会会員による優雅な舞楽が奉納されます(雨天中止)。

演目は「春庭花」「納曽利」「萬歳楽」「陪臚」「還城楽」「散手」「陵王」などです。

拝観のご案内

増上寺宝物展示室

平成27年4月より、大殿地下一階に増上寺宝物展示室がオープン致しました。英国ロイヤルコレクションから貸与を受けた徳川二代將軍秀忠公御廟の建築模型ほか、所蔵文化財を展示しております。

- 入館時間……午前10時～午後5時
- 入館料……一般700円(税込)
- ※徳川將軍家墓所拝観とのセット券1000円



撮影：平岡 Royal Collection Trust / ©Her Majesty Queen Elizabeth II 2017

徳川將軍家墓所

秀忠公をはじめ6人の將軍、歴代將軍の正室側室及び子女多数が埋葬されています。どうぞお参り下さい。

- 拝観時間……午前10時～午後4時
- 拝観要加料……5000円